



笑顔と輝きに満ちた谷原中

# 谷原中だより

練馬区立谷原中学校

校長 山根 浩孝

平成 26 年 7 月 17 日

第 7 号

## 大地に深く根を張る

校長 山根 浩孝

暑い日が続きます。先週は大型の台風第 8 号が日本列島を直撃し、全国各地に特別警報が出され、土砂崩れ、大雨など大きな被害をもたらしました。谷原中学校では大きな被害が出ず、学校行事も予定通り実施できましたが、今回の台風では、自然災害の恐ろしさについて考えさせられました。これからも学校では、安全管理についての意識を高め、生徒の安全確保に努めていきたいと思ひます。



さて、来週から長い夏休みに入ります。皆さんは、運動会をはじめ、多くの学校行事や学年行事、そして委員会活動や部活動に励んできました。この 4 ヶ月の期間を通して、多くのことを学んだのではないのでしょうか。特に 1 年生は初めてのことばかりで戸惑うこともあったと思ひます。授業も小学生の頃より難しくなり、進度も速くなりましたが、よく学習に励んでいました。また、2 年生は、6 月に職場体験がありました。自分一人の力で事前の申し込みから体験するまで、最後まで立派にやり遂げることができました。一人一人が、それぞれの事業所でたくさんの貴重な体験をすることができて、とてもよかったです。そして、3 年生は、学校行事、委員会活動、部活動等すべての活動において、リーダーシップを発揮して、谷原中学校の最上級生として、よくがんばりました。今、谷原中学校全体が落ち着いて授業や学校行事に取り組んでいるのは、3 年生のがんばりがあるからです。先輩たちのよい伝統を引き継ぎ、「生徒自らが創る学校」を実践しています。学校行事、部活動で見せたひたむきな姿は、谷原中学校全体にとってもよい影響を与えています。

中学生の学習内容は、これから皆さんが生きていく上での基礎・基本となる内容です。今、しっかり学ばないと後でとても苦勞します。よく中学校を卒業した先輩たちからは、「もっと中学校の時に勉強しておけばよかった。」という言葉が聞くことがあります。これは、皆さんの先輩たちの正直な気持ちであり、あなたたちへの貴重なメッセージだと思ひます。誰のためではなく、未来の自分のために、今の時間を大切にしてください。



『根深ければ葉繁し』と言葉があります。これは、「樹は広く深くそしてしっかりと大地をつかむように細かく根を張ってなければ、枝を伸ばし十分に葉を茂らせた大樹には育たない。」という意味です。ところが、人は枝ぶりや葉の茂りに目をうばわれ、目に見えない根の張りに気を配ることを忘れてしまいがちです。見た目には立派な「木」でも、根の張りが弱く強い風が吹くとぐらつくようであれば、とても大樹に育つことはできません。私は、この中学生の時期は、皆さんが大地にしっかりと根を深く張る時だと思ひています。一日一日の学びを大切に、将来たくさんの葉を茂らせることができるそんな谷原中生になってほしいと思ひます。

◇**F組岩井移動教室** 6月20日(金)からF組は4校合同移動教室へ行って来ました。朝8時に谷原中学校を出発して海ほたるPAで休憩後、「市原ぞうの国」でたくさんの動物たちとふれあいました。夕食後は体育館で4校揃っての開校式・交流会です。F組ダンスの発表は素晴らしく、たくさんの拍手をもらいました。2日目は、マザー牧場で、マザーファームツアー等の体験を行いました。午後は練馬中学校と班ごとの交流活動で、動物とのふれあい体験を行いました。ひつじ、山羊、うさぎ等を間近に見ることができ、生徒たちは大はしゃぎでした。夜は4校合同のキャンプファイヤーを実施し、歌、ダンスを行い、最後は全員で「大切なもの」の大合唱でした。3日目は、鴨川シーワールドの見学です。シャチ、アシカ、イルカのパフォーマンスのショーを見ることができ、生徒達は大喜び。雨でしたが、予定通りに見学できました。最終日は宿舎で閉校式を行い、いきいき体験共和国でジャムづくりを体験しました。天候が心配される中、予定通りの行動をするができ、みんな元気に4日間を過ごすことができました。ご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。



◆**練馬区一斉防災訓練** 7月1日(火)に練馬区一斉防災訓練を実施しました。東京湾北部を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生、練馬区では震度6弱の揺れが確認されたことを想定して、避難行動の確認や保護者への引き渡し訓練を行いました。本校では、机の下に入り身の安全を確保する初期訓練、校庭への避難訓練、各教室での引き渡し訓練を行いました。当日は102名の保護者の方が引き取り訓練に来ていただきました。ご協力ありがとうございました。



□**職場体験(2年)** 6月25日、26日の2日間、進路学習の一環として、職場体験を行いました。今回の職場体験は、生徒一人一人が自分の力で体験先を探し、1つの職場につき一人で体験するようにしました。2年生は体験先を決めるのに苦労しながらも、全員が93カ所の事業所で2日間の体験をやり遂げることができました。生徒の感想からも責任感やあいさつの大切さ、仕事の大変さ等多くのことを学んだことがわかりました。本校の生徒を温かく迎え入れてくださった地域の事業所の方々には、心より感謝申し上げます。



晴れ渡った空の下での運動会。生徒の全力と職員の熱い気持ち、そして観覧席からの熱気で表舞台のグラウンドは湧き上がっていました。同じ時間にその裏では、PTAの各委員さんが受付やお客さんの接待、写真取材等それぞれのお仕事に尽力していました。父親の会有志の皆さんによる、入り口の警備や駐輪場整理のお手伝い、校舎内の巡回警備もありました。学校は、いろいろな力で支えられています。それを当然のことと勘違いせず、谷原中学校は、生徒・職員共にそれぞれの立場で今できることに全力で取り組める学校を目指します。

【副校長 吉川 浩司】